

教育データ利活用に向けたシステム利用状況調査

調査概要

全国の自治体における教育データ利活用の概況をアンケートで把握の上、ヒアリングにて特に先進的に取り組んでいる（又は効果的な活用を目指し実証を行っている）事例の深掘りを行いました

アンケート

ヒアリング

目的	<ul style="list-style-type: none">これから教育データの利活用を実施していく自治体等の参考になるような情報を収集し、展開すること※第5回コミュニティにて結果を共有	
対象	<ul style="list-style-type: none">対象：全自治体回答自治体数：1,798教育委員会中1,530（85.1%）	<ul style="list-style-type: none">10自治体※教育データ利活用の目的や方法が幅広くなるよう選定
期間	<ul style="list-style-type: none">2025年8月22日（金）～2025年9月30日（火）	<ul style="list-style-type: none">2026年10月～12月
実施方法	<ul style="list-style-type: none">文部科学省WEB調査システムEduSurvey自治体から提出のあったExcel・PDFファイル	<ul style="list-style-type: none">オンライン会議
調査項目	<ul style="list-style-type: none">教育データ利活用の状況（パターン1～3）教育データ利活用の目的使用しているツールやシステム、データ項目教育データ利活用を行っておらず、検討もしていない場合、その理由等	<ul style="list-style-type: none">教育データ利活用の目的・その背景課題取組内容の詳細（使用ツールやシステム、データ項目）教育データ利活用方針を決めるプロセス教育データ利活用による効果学校現場での主体的な利活用を促すための工夫効果検証の有無・内容構築・運用における課題

システム利用状況調査事例一覧

教育データの利活用にこれから取り組んでいく自治体等の参考としていただくことを目的に、既に取り組に着手されている自治体へのヒアリング等を通じ、取組概要や活用しているシステム・ツール、具体的な活用方法の事例を取り纏めました

1. 栃木県矢板市『体力テスト結果の迅速な見える化による授業改善』(パターン1)
2. 宮城県『「みやぎ学力状況調査」を踏まえた各校の教育活動の改善』(パターン1)
3. 岐阜県岐阜市『朝夕の健康観察による子どもが安心できる居場所づくり』(パターン1)
4. 鹿児島県長島町『単元の見通し・振り返りによる授業改善・自律的な学びの実現』(パターン1)
5. 千葉県『施策前後の学力比較による教育施策の効果検証』(パターン1)
6. 滋賀県長浜市『心の調子や学習状況を踏まえた個別支援』(パターン2)
7. 鹿児島県鹿児島市『学習・生活状況の見える化による、授業改善や個別支援の実施』(パターン2)
8. 山梨県甲府市『健康観察×端末ログで、生活習慣の改善』(パターン3)
9. 東京都『在校等時間の見える化による働き方改革の推進』(パターン3)
10. 福島県いわき市『多角的なデータを活用した学級づくり・授業改善』(パターン3)

※パターン1~3の定義については、p.7下部注記参照

栃木県矢板市『体力テスト結果の迅速な見える化による授業改善』(パターン1)

概要

矢板市では、児童生徒の体力低下に課題意識があり、**児童生徒の体力向上**を目的にデータを活用している。

モデル校3校（小2校、中1校）で、体力テスト結果をアプリに入力し迅速に可視化することで、**授業や業間の体力づくりの改善**に活かしている。

具体的な活用方法

データ入力

- データ項目
- 基本情報
 - 健康情報 (身長/体重)
 - 体力テスト結果

児童生徒



集計・分析



図1：体力テストの個人結果/分析閲覧ページ

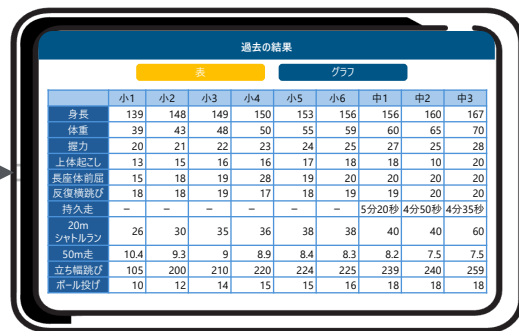


図2：過去の体力テスト結果閲覧ページ

クラス平均や全国平均との比較も可能。

組	平均	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ
平均	8.86	14.93	27.93	25.07	15.86	11.72	87.93	6.21	
Tスコア	51.69	56.75	49.17	46.28	50.4	50.49	37.83	52.99	
全国平均	8.52	11.77	28.49	26.88	15.6	11.77	108.42	5.63	

全国平均を下回った種目：長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳び

活用システム/ツール

- ALPHA：体力テストの計測・集計・分析をデジタル化するシステム。体力づくりのための動画も閲覧可能。

児童生徒

目標設定



アドバイス動画視聴



体の動かし方の改善



児童生徒が伸ばすべきポイントを理解することで、意欲をもった活動に繋がる

教員

課題等の把握



授業改善の検討



教職員は体育の授業や体力づくり活動を改善できる

教員

教委へのデータ提出

教委

教員研修等への反映



教職員の業務効率化に繋がる



教職員の指導力向上が図られる

宮城県『「みやぎ学力状況調査」を踏まえた各校の教育活動の改善』(パターン1)

概要

宮城県は、**県立高校の学力向上**を目的に、県独自の学力状況調査を実施し、県立高校全体で、データを活用している。

調査で得られた結果を県立高校に共有するとともに、**各校での詳細な分析ができる環境を整えることで各校における教育活動改善のサイクルを回す**ことを促している。

具体的な活用方法

調査実施

教育委員会による
結果集計・共有

教員

各校での詳細分析

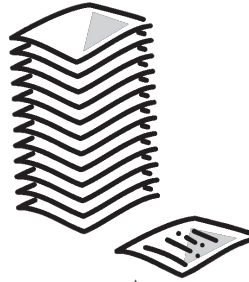
教員

各校による報告

教員

各校の取組方針検討

- データ項目
- 学力(国数英)
 - 授業理解度
 - 生活状況(勉強時間/スマホ使用時間等)



生徒



国語 第1問

- 大問正答率
- 問1正答率
- 問2正答率
- 問3正答率
- 問4正答率

2. 心身の健康、志教育等

- (1)-1. 毎日同じくらいの時刻に寝ている
- (1)-2. 体調はよい
- (1)-3. 熟睡ができています
- (2)-1. 学校生活に充実感や満足感を感じています

教科ごとの全体の正答率に加え、大問や小問ごとの正答率の分析が可能
→ 躓きがある単元等を見つけるのに繋がる

図1：分析システムの項目選択画面

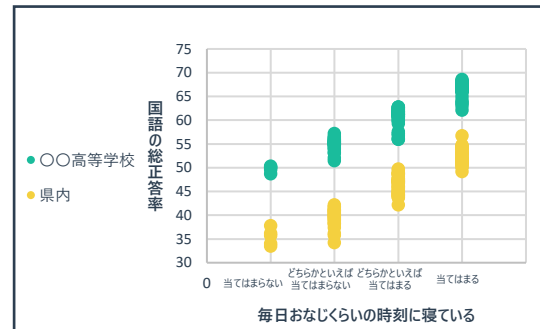


図2：学力と生活状況の相関

勉強時間・スマホ使用時間・睡眠時間・学校生活への満足度等、生活状況の項目ごとに分析が可能
学力との相関を見ることが可能

活用システム/ツール

- 独自分析システム：学力状況調査の結果を読み込み、項目を選択すると、簡単に分析ができるシステム



各校の主体的な教育活動の改善を促すことで、**県域全体での学力底上げに繋がる**



教員

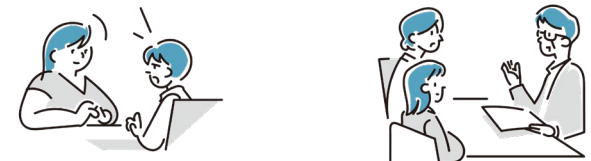
授業改善の検討



各校は**早期に生徒の苦手分野を発見し、授業改善に繋げられる**

教員

生徒指導への活用



気になる生徒の支援ができる **保護者と情報共有**が図られる

岐阜市『朝夕の健康観察による児童生徒が安心できる支援体制づくり』(パターン1)

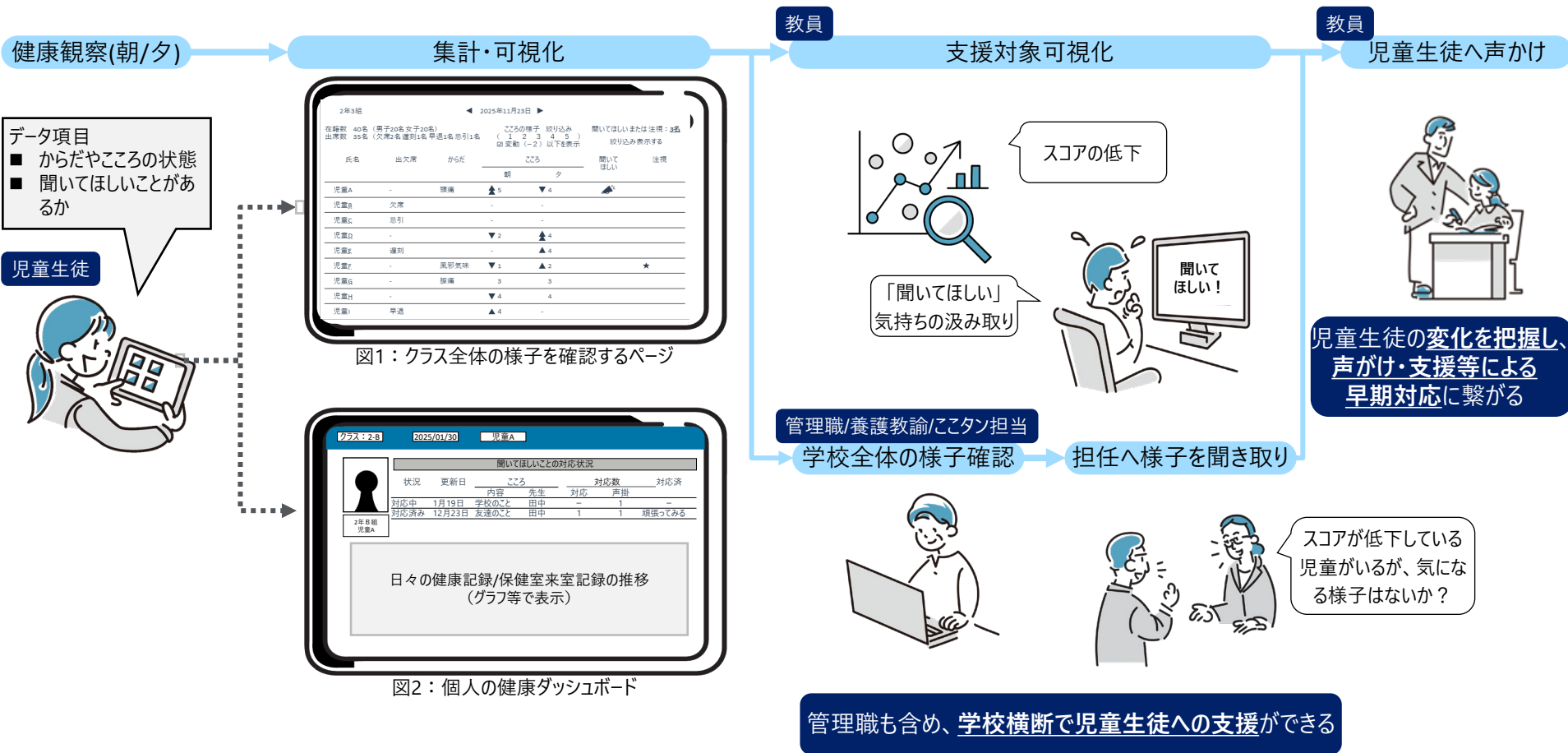
概要

岐阜市は、**児童生徒が安心できる支援体制づくり**を目的に、全小中学校・義務教育学校で児童生徒の「からだ」と「こころ」の健康データを活用している。1日に2回（朝・夕）行う健康観察の結果を基に、**気になる変化が確認できた児童生徒への迅速な声かけ**につなげている。

具体的な活用方法

活用システム/ツール

- **ここタン**：児童生徒が相談したい内容と相談したい教員を選んで、気軽にSOSを発信できるシステム



長島町『単元の見通し・振り返りによる授業改善・自律的な学びの実現』(パターン1)

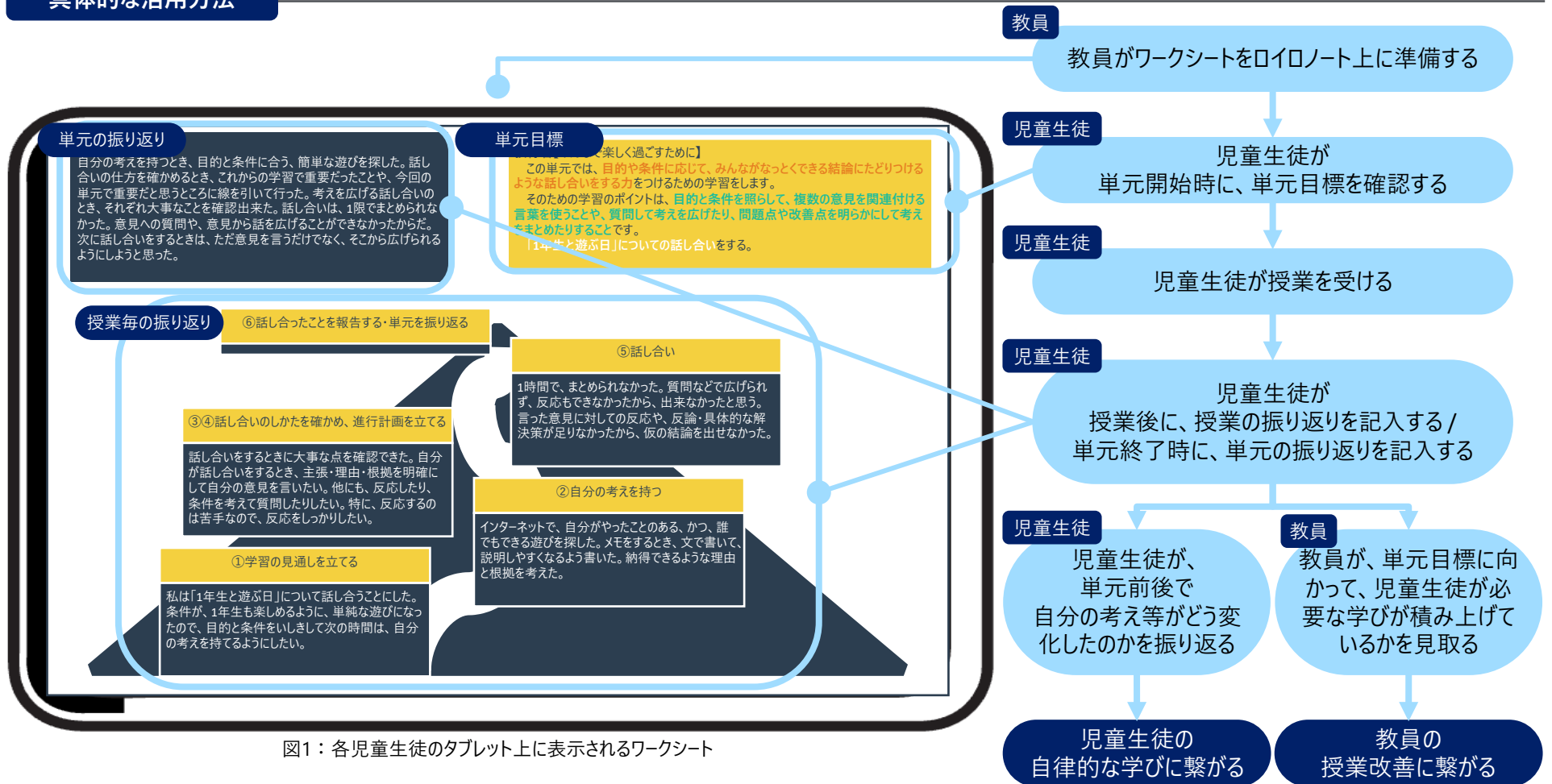
概要

長島町では、町内研究校を中心に、単元の目標を踏まえた振り返りを毎時間行い、**単元を通して、児童生徒がどのように変容したか**を見て分かるようにしている。**教員の授業改善**と共に、**児童生徒の自律的な学び**に繋げている。

活用システム/ツール

- ロイロノート：タブレット上で使えるデジタルノート。児童生徒の思考を表現し、アウトプットを教員・児童生徒間で共有したりできる。

具体的な活用方法



千葉県『施策前後の学力比較による教育施策の効果検証』(パターン1)

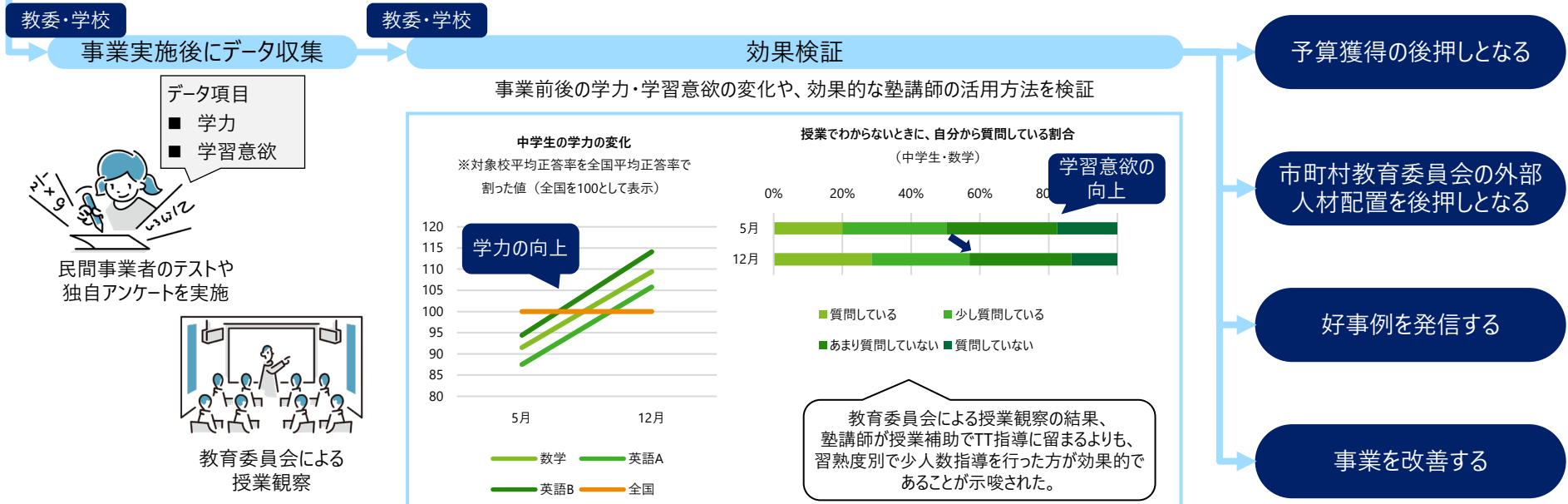
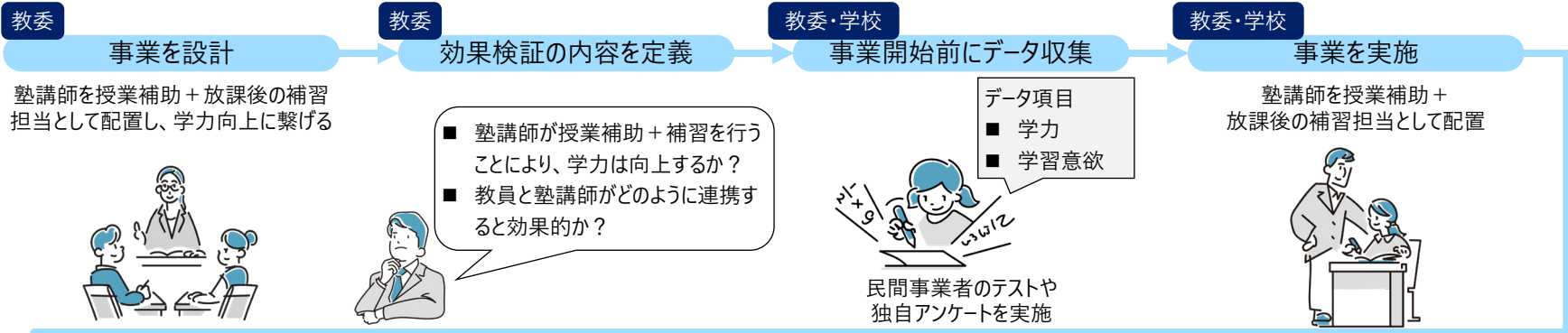
概要

千葉県では、塾講師を学習支援員として配置する事業の効果検証を丁寧に行うことで、学力や学習意欲向上を明確に示し、**予算獲得**や市町村教育委員会に対して**学習支援に係る外部人材活用を後押しするための根拠**としている。

活用システム/ツール

■ 学力テスト・アンケート・授業観察を組み合わせ、効果検証を実施

具体的な活用方法



長浜市『心の調子や学習状況を踏まえた個別支援』(パターン2)

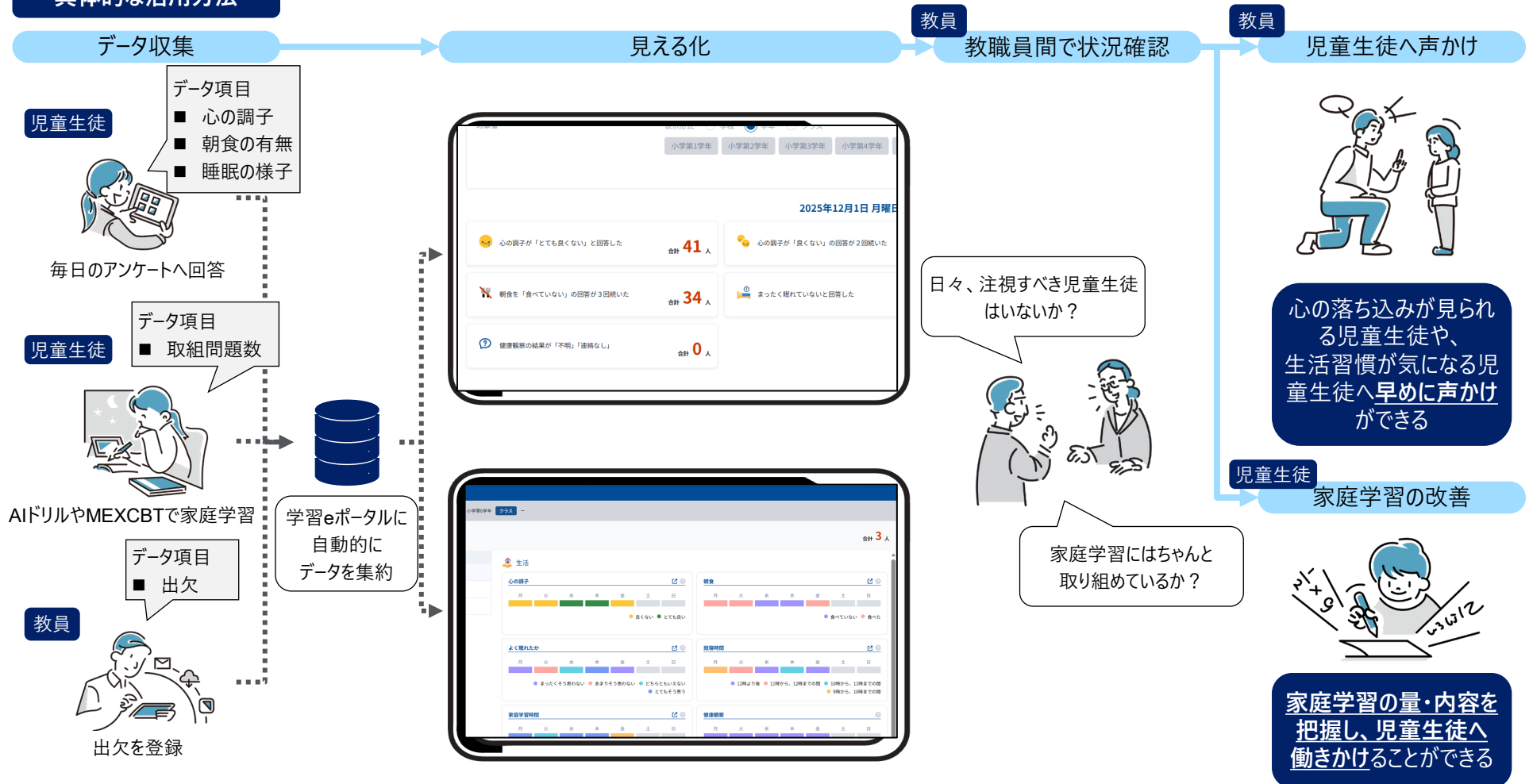
概要

長浜市では、全小中学校で、児童生徒の心の調子等の毎日のアンケート、AIドリルでの学習状況や、出欠状況のデータをL-Gate（学習eポータル）で**一元的に見える化**し、それぞれの児童生徒の状況を教職員全体で共有し、心の落ち込み等が見られる児童生徒へ**早めの個別支援や、家庭学習の改善**に繋げている。

活用システム/ツール

- L-Gate：MEXCBT等へ接続するための入り口となる学習eポータル
- Qubena：AIデジタルドリル
- MEXCBT：オンライン上で学習やアセスメントができるプラットフォーム
- 教務手帳：教員が出欠等を登録するシステム

具体的な活用方法

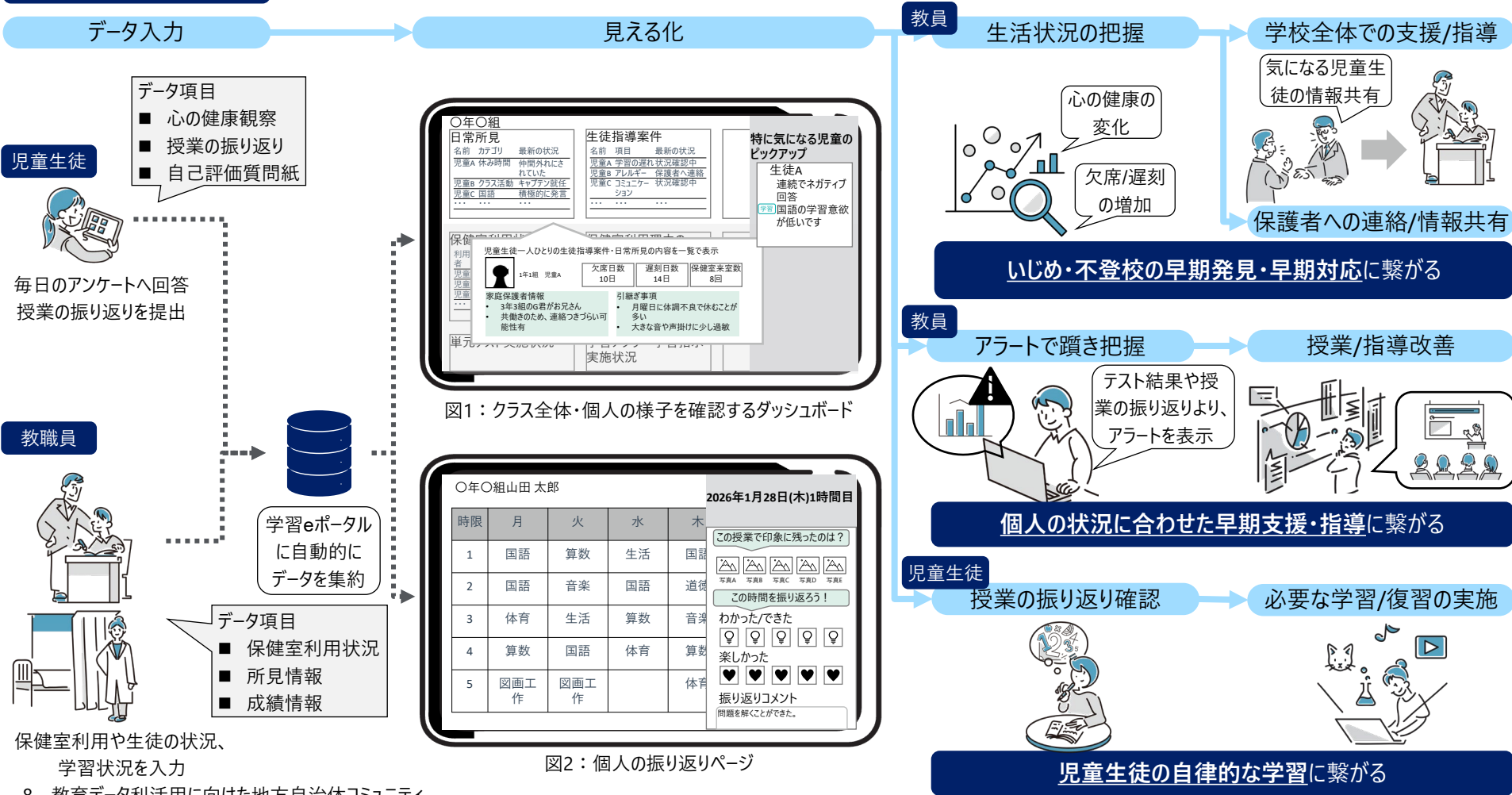


鹿児島市『学習・生活状況の見える化による、授業改善や個別支援の実施(パターン2)』

概要

鹿児島市では、モデル校2校で、価値のある教育データ活用ユースケース/ノウハウの創出を目的に、学習や生活・健康、指導・支援に関するデータを一元管理し、「**学習状況の変化**」や「**生活状況の変化**」に着目し、気になる生徒をピックアップすることで**授業改善**や**個別支援**に繋がっている。

具体的な活用方法



甲府市『心の健康観察×端末ログで、生活習慣の改善』(パターン3)

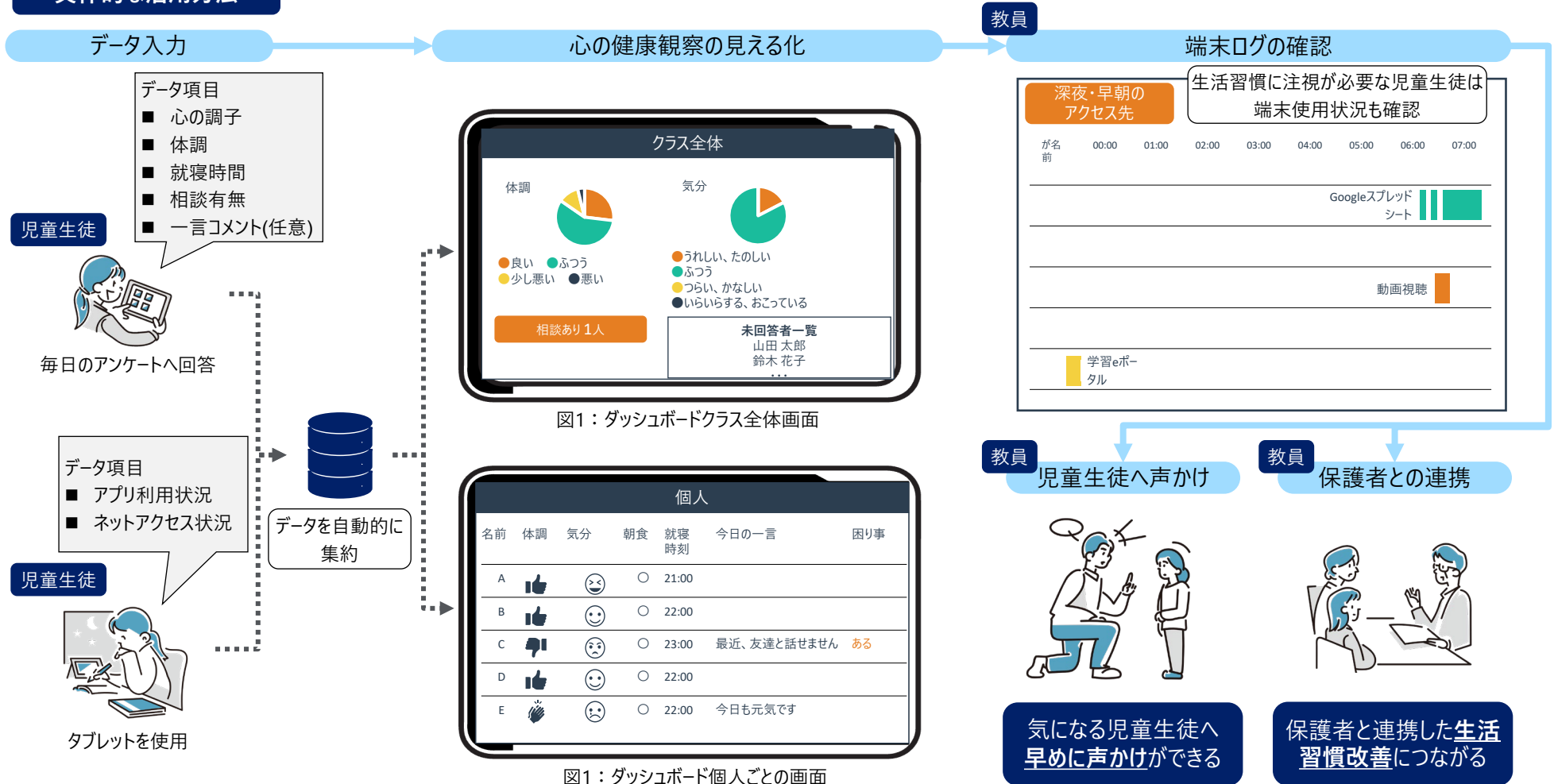
概要

甲府市では、全小中学校で、子どもの状況に合わせた個別支援を目的に、教科書やドリルアプリの使用状況、心の健康観察結果等をGoogle Cloudに集約し、ダッシュボード化している。日々の心の健康観察に加え、端末使用状況も見ることで、生活習慣の改善へアプローチしている。

具体的な活用方法

活用システム/ツール

- Google Forms：オンラインアンケート
- Google Cloud：各種データを集約し一元化できるデータベース
- Looker Studio：様々なデータソースのデータを、グラフや表にできる可視化ツール
※Google Formsで集めた児童生徒のアンケート結果や、児童生徒のタブレットから収集したアプリ利用状況等について、Google Cloudで集約し、Looker Studioで見える化している



東京都『在校等時間の見える化による働き方改革の推進』(パターン3)

概要

東京都では、働き方改革を目的に、都立全校の校長が自校の在校等時間を分析するダッシュボードと、保護者や地域に学校の勤務状況を公開するダッシュボードを作成し、分析の効率化や、打ち手の立案、保護者や地域からの働き方改革への理解醸成を図っている。

活用システム/ツール

- Power BI：様々なデータソースに接続し、データの可視化やレポート作成を行うツール
- ※出退勤管理システムで記録された日々の教職員の勤怠について、PowerBIへ連携し、見える化している

具体的な活用方法



いわき市『多角的なデータを活用した学級づくり・授業改善』(パターン3)

概要

教科学力や非認知能力、学習方略等の多角的なデータを組み合わせ、平均正答率等の表面的な情報に加え、分布図や「インフルエンサー（影響を与えるもの）分析」により、**学校・学級の強みや課題の背景を理解し、改善の糸口となる情報を把握し**、全小中学校で学校運営や学級づくり、授業改善に繋げている。

活用システム/ツール

- PowerBI：様々なデータソースに接続し、データの可視化やレポート作成を行うツール
- ※全国学力・学習状況調査やふくしま学力調査、いわき市児童生徒理解アンケート-I-SUSの結果をPowerBIへ連携し、見える化している

具体的な活用方法

